

第 404 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 6 年 9 月 3 日 (火) 11:00～13:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取講評 [番組名] K-MIX MOVE ON
[放送日時] 令和 6 年 8 月 22 日(月) 15:08～18:55
[出演者] バカボン鬼塚 牧村一穂
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 委員 服部乃利子
委員 加藤裕治 委員 小野晃司
委員 土屋維子
[会社] 代表取締役社長 井熊正浩
取締役放送事業本部長兼編成制作部長 杉山啓充
編成制作部専任部長 鈴木秀明
5. 事務局報告 ○K-MIX の台風 10 号時の対応と上半期これまでの営業状況の報告
6. 番組審議

[番組名] K-MIX MOVE ON (水・木)
[放送日時] 令和 6 年 8 月 22 日(木) 15:08～18:55
[出演者] バカボン鬼塚 牧村一穂
[番組内容] 番組タイトルの” MOVE ON” には、「先へ進む」「次へ進む」に加えて、気持ちが「前に進む」という意味を込めた。K-MIX と聴取者、聴取者と聴取者が同じ時間を過ごしていることを実感し、気持ちを共有・共感できる、楽しくも心地よいプログラム。静岡市の新静岡セノバにあるサテライトスタジオからの公開生放送。地域密着の“ずっと先よりちょっと先”の情報、番組こだわりの音楽、そして、1日の疲れや悩みが吹っ飛び、明日への活力につながる“笑い”。番組のテイストは月・火と水・木で分けて、習慣でお聴きのすべての聴取者に 2 倍お楽しみいただけるように設定。パーソナリティ陣は、信頼される確かなパートナーとして、聴取者のマインドをポジティブに変換し、生活を彩り豊かに。「先へ進む=何か新しいことを始める」K-MIX の“今”のメッセージを発信していく。

[聴取・合評での主な意見]

服部委員

バカボンさんのトークの受けや返しが優れているとは感じていたが、改めて番組を聴くと、メッセージへの読み方、メリハリのつけ方で聴かせるテクニックが卓越している。牧村さんは、バカボンさんに上手く引っ張られながらも、元気パートの担当として、伸び伸び楽しそうに番組に出演している。笑いと元気を提供し、楽しい雰囲気醸し出せるバカボンさんから、メール紹介のテクニック等も学んでいると思うので、今後の牧村さんの成長が楽しみな番組である。

加藤委員

番組のコアファンから送られる様々なメールを紹介する際に流れるようなテンポを作り出すことができるメッセージの量と質から、番組と聴取者の関係性がしっかりと出来ている良い番組だと感じた。明るく楽しくちょっとふざけた流れを保つ番組内容は、ファンには受け入れられると思うが、昨今のラジオの現状では、しっかりと話を聴かせるトークも多くなっているため、この番組のトーク内でのエコー等を用いた従来の演出を今の聴取者はどう受け止めるのだろうかという疑問も感じた。牧村さんについては、バカボンさんに任せていけば安心という部分はあるものの「MOVE ON」(水・木)がバカボンさんの手腕を中心に完成している番組であることから、今後、牧村さんをどのように導いて行くのか、牧村さんが自身、どうして行きたいのかが番組発展の鍵になるのではないかと。

小野委員

バカボンさんと牧村さんの二人のトークが完成しており、会話の中に「ん？」と思わせることがないことが、安定しているところだと思う。また、牧村さんは、個性的で、元気で、明るく、いやみのない、非常に良いポジションにいて感じている。それ故に、この番組の牧村さんが、「ごく自然に自分を出しているのか」「無理をしてテンションを上げているのか」バカボンさんがいない場所で、どのような個性の持ち主なのかがとても興味深い。番組の音の表現方法は、古典的なところもあるが、絶妙であり、この手法は、「ノスタルジック」ではなくラジオに馴染みの少ない現代の人々には、かつて感じたことのない「サムシングニュー」ともいえる手法で素晴らしい。

土屋委員

相変わらず声質・スピード感等、安定している二人の掛け合いで、安心して聴くことができる。長い時間の番組で最初から最後まですべて聴くことが難しいと思うが、「聴きながら何かをする」という観点から耳を傾けると、番組のテンポ感も優れている。牧村さんは、普段からキャラクターが濃いにもかかわらず、さらに一層、個性が出てきて、しかも伸び伸び放送している。やっと、自分のキャラクターの良い出し方を見つけたと感じる。その個性は好印象で、不快感はなかった。大前提として、バカボンさんのスキルが大部分の要素となって、この番組は成立していると改めて感じる。

木宮委員長

全体的にバカボンさんと牧村さんのトークは良い印象を与える。楽しい雰囲気です約4時間聴くことができる良い番組である。バカボンさんは、K-MIXに登場した当初に比べて、良い年の重ね方をしていると思われるが、新たな魅力を牧村さんが引き出しているのではないかと感じる。牧村さんは、今のトークが自然な等身大なのか、キャラクター設定しているのかが不明であるが、今後中堅ポジションに移行するにあたって違う魅力も欲しいところである。しかしながら、現在の番組をさらに盛り上げるには、牧村ファンをどのように盛り上げて行くのかが大切な要素の一つであることは間違いない。

会社サイド

番組は県内聴取者のファンも多く、パーソナリティについても注目されている。いろいろなご意見もあるが、根強いファンは確実に存在していることから、牧村本人の上昇志向を大切にしていきたいと考えている。

以上

次回開催日 令和6年10月1日(火) 11:00～13:00を予定

番組審議会委員長
木宮敬信